

湊川相野学園 ニュース

発行: 2021年4月
湊川相野学園理事長室会

No.

77

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川短期大学「入学式」

4月6日(火)、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、令和3年度入学式を挙行了し本科115名、専攻科5名の入学生を迎えました。

コロナ禍での入学式は来賓、保護者の参加を制限し、規模を縮小しての開催となりました。式当日は座席間隔を取り、発声を控え、また閉式後は各自で座席消毒を行うなど、感染症対策を行いながらの挙式となりました。

新入生代表による宣誓では、本学で学ぶ意志の強さが確認でき、2年後の成長した姿が楽しみになりました。



三田松聖高等学校「第71回入学式」

4月9日(金)、春の日差しが心地よい中「第71回入学式」が行われ250名の新入生が晴れて、三田松聖高校の生徒となりました。今回の式に関しては、コロナ禍ということもあり、例年になく制限のあった入学式ではありましたが、新入生の表情は引き締まった様子でした。



週明けの13日(火)には、これからの情報化社会に対応できるスキルの構築や情報モラルを身につけさせるため、NIT情報技術推進ネットワーク株式会社の篠原 嘉一さんを講師に招き「スマホやネットに潜む危険から身を守る方法」の講演会が行われました。近年、高校生のSNSの利用が増加し、犯罪に巻き込まれるケースも少なくありません。生徒は自分のスマートフォンを持参し、セキュリティチェックを行い危険度チェックしました。



みなとがわ人物紹介



附属西舞子幼稚園
園長 紺屋 美紀 先生

「尼崎市立幼稚園から4月1日付けで当園園長に赴任いたしました。紺屋(こんや)という名前は珍しいですが嫁ぎ先の先祖が鹿児島で染物を営んでいたというのが由来のようです。

幼児教育に携わり44年目になります。

初め公立と私立の違いに少し戸惑っていましたが、当学園の家庭的な雰囲気の中で皆さんと一緒に仕事をさせていただき、新鮮でワクワクドキドキの楽しい毎日を過ごさせていただいています。初めて出会った2歳児保育の中で「できたよ」と

競り合いながら担任に訴える子どもの姿を見て、傍に人が居るから互いに刺激し合い、高め合い、共に育っていけるのだと保育の原点を実感しました。子ども達には、自分の人生を生き抜く力…気づき感じる力、諦めないでやり抜く力、人を理解し人と共に生きる力を育てていきたいと願っています。趣味は、パン作り…今は時間がないですが、最近の楽しみは出勤途中電車の窓から塩屋の海を眺めながら、自然の美しさに癒されることです。」という優しい紺屋園長です。



附属神陵台幼稚園
園長 川嶋 富美子 先生

「県立学校長を経て今春神陵台幼稚園へ園長としてまいりました。初めて学園本部を訪れた時、出迎えてくださった方のお心の温かさに触れ、この学園のために心を尽くしたいと思いました。人生の基礎にあたる大切な時期の子ども達に、人を思いやり愛し愛される人間性を育みたいと思います。」「趣味は旅…様々な自然や文化が心を豊かにしてくれます。また、親しんでいる音楽は、生活の一部として大切な要素だと感じています。」「神陵台幼稚園が、子ども達は勿論のこと教職員にとっても楽しい所であるよう運営し、子ども達の成長と幸せに貢献したいと思います。」と話していただいた生粋の神戸っ子でした。